



清田としゆき

たきた歎辛日録会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

印旛郡市への県新潟相設置を答申!

千葉ニュータウン県有地への誘致に全力！

千葉県児童相談所管轄区域見直し

千葉県議会随一の論客として活躍する滝田敏幸県議（4期）は6月定例会において県政史上最速で30回目の一般質問に登壇。千葉県社会福祉審議会から知事へ答申された「児童相談所管轄区域の見直し」や県消防広域化計画、手賀沼土地改良事業など重要課題について質疑を展開しました。また、自民党・新型コロナ対策副本部長として、感染拡大の第2波に備えた県の医療提供体制強化についても提言。6月補正予算において、PCR検査体制の拡充や病床確保で結果を残しています。

6月定例県議会一般質問

滝田議員 県では、近年の児童虐待対応件数の増加等に伴う児童相談所の体制強化の一として、児童相談所の管轄区域の見直しについて検討が進められており、県社会福祉審議会の下部組織である社会的養護・検討部会で審議されていましたが、6月4日に知事に答申がされた。

そこでうかがうが、児童相談所の管轄区域の見直しに係る答申を受けて、県は今後どのように取り組んでいくのか。

知事 県の所管する児童相談所は、現在6か所あり

A photograph of a man in a dark pinstripe suit, white shirt, and striped tie. He is wearing a white surgical mask and a small red flower is pinned to his lapel. He is standing behind a wooden podium with two microphones. In the background, there are other people and a wooden panel.

県議会史上最速で30回目の一般質問に登壇

児童相談所については、いざ
れも管轄の人口が130万人
を超える状況にあります。
今回の答申は、昨今の児
童虐待対応件数の増加等も
踏まえ、1か所当たりの管
轄人口の改善に向け、新た
に児童相談所の2か所増設
を求めるものであり、県と
しても、児童虐待事案に、
的確かつきめ細やかに対応
していく上でも、早急に整
備を進める必要があると認
識しております。

県としては、本答申を踏
まえ、できるだけ早期に候
補地が決定できるよう、市
町村や関係機関とも協議の
上、具体的な設置場所の選
定等を進めてまいります。

所の候補地については、交通機関等の利便性や周辺環境等の諸条件を勘案の上、検討していく必要があると認識しており、各管轄区域内の未利用公有地の活用を含め、総合的な観点から検討を進めてまいります。

今後、地元と調整等を図った上で、候補地が選定された後は、整備に向けた計画づくり等を進めることになります。

減に、どのように対応していくのか。

健康福祉部長 児童相談所職員の負担軽減に向けた取り組み

所職員の負担軽減に向けては、特に若手職員へのきめ細やかなサポート体制が必要となることから、指導及び教育を行う児童福祉司、いわゆる「スーパーバイザー」を、担当地区ごとに1名配置しており、これに加え、中堅職員にもサポート役を担つてもらうなどの配慮をしています。

滝田議員 新たな児童相談所の候補地選定や、選定後における基本的な進め方について、どう考えておられるのか。

スーパーバイザーが児相職員をサポート

●県政と印西市・栄町に関するご相談・ご要望をお気軽に寄せください。

たきた敏幸事務所

毎日更新中のブログ、Facebookと懇親会動画もご覧下さい。… 滝田敏幸 [検索](#) <http://www.takinowa.com/>

印西市～野田市ルート検討へ

国道16号千葉柏道路

千葉県道路協議会 国と県などで合意

野田市から利根川沿いを南下し印西市縦断のルートが検討される

県議会県土整備常任委員会及び自民党北千葉道路推進議員連盟事務局長として活動する滝田県議は、国道16号バイパスとなる「千葉柏道路」について、国・県・沿線市への積極的な要請を行ってきました。本年6月3日、国土交通省、千葉県及び東日本高速道路会社などで構成する「千葉県道路協議会」において、「利根川ルート」を検討していくことが確認されました。

印西・栄町の消防広域化訴え

県の財政支援とイニシアチブ要請

しかししながら、消防広域化は組織や財政事情が異なる市町村が共同で消防業務を行ふことになることから、合意形成に時間が必要となることも想定される。

そこでうかがうが、消防広域化についての取り組み状況はどうか。また、今後どのように取り組んでいくのか。

防災危機管理部長 消防広域化を推進するためには、市町村における主体的な取り組みが重要であり、県としては市町村の意見を丁寧に聞きながら、積極的に助言、支援することが必要であると考えています。

滝田議員 消防広域化により、災害発生時等における初動体制の強化や現場到着時間の短縮等、さまざまなスケールメリットが実現され、地域住民への対応力の向上が図られる。



このため県では千葉県
き、これまで広域化対象市
町村を中心とした地域に対
し、説明会を開催するとと
もに、今後の推進方策等につ
いて個別に意見交換を行い、
広域化に対する考え方をう
かがってきたところです。

となる具体的な支援策についての検討状況はどうか。
防災危機管理部長 消防広域化を推進するためには、

滝田議員 新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえ、千葉県地域防災計画において、感染症対策の充実を具体的に図っていくべきと考えるがどうか。

「指定避難所において感染症患者が発生した場合の対応やホテル・旅館等の活用などについて平常時から検討すること」「マスクや消毒液などの物資の備蓄に努めること」などが新たに加えられたところです。

地域防災計画を見直し 避難所も新型コロナ対策

て、具体的な対応を示した
手引きを作成し提供するなど、市町村の取り組みを支
援しています。

たきた敏幸・PROFILE

- ・1960年 印旛郡印西町大森生まれ
大森小、印西中、
県立我孫子高校卒
 - ・1982年 同志社大学卒業
 - ・1999年 印西市議2期
 - ・2007年 千葉県議4期
 - ・2008年 印西市消防団副団長
 - ・2009年 総合企画水道常任委員長
 - ・2010年 千葉県ラグビー協会会長
 - ・2013年 総務防災常任委員長
 - ・2016年 農林水産常任委員長
 - ・2019年 獅医療対策議員連盟会長